

相次ぐ外来機の飛来及び即応訓練に抗議する意見書

令和4年2月19日午後のアラスカ州イールソン空軍基地所属のF-35A戦闘機2機が、同月21日午前には10機が嘉手納基地に飛来し、岩国基地所属F-35B戦闘機1機と合わせ計13機が駐機し訓練を実施している。25日午前中の滑走路を低空で通過するローアプローチ訓練の際には町内すべての騒音測定局で90デシベル以上を記録し、ロータリープラザ測定局では100.4デシベルもの激しい騒音が確認されている。

嘉手納基地では今年1月下旬から、横田基地所属CV-22オスプレイや岩国基地所属F-35戦闘機など外来機の飛来が相次ぎ騒音が増加したことを踏まえ、2月9日の臨時会において騒音激化に抗議する意見書・決議を全会一致で可決し、日米両政府及び関係機関に抗議したばかりである。

このような状況下さらに米軍は、2月28日から3月12日にかけて嘉手納基地内においてサイレン音、拡声器放送、模擬爆発装置（GBS）及び発煙筒等を使用する即応訓練を実施している。空が白む早朝から夜遅くまでエンジン調整音を鳴り響かせ、町中に排気ガスの悪臭を漂わせるとともに、轟音を立てて戦闘機が離発着及び飛行訓練を繰り返している。当該期間内には県立高校入試及び町立中学校卒業式が執り行われる予定があり、平穏な日常生活に大きな悪影響を与えている。

騒音等の基地被害は我慢に我慢を重ねてきた町民の受忍限度をはるかに超えており、米軍の傍若無人な基地運用に激しい憤りを禁じ得ず、いかなる理由があれ容認することはできない。

日米両政府においては、平成22年に日米安全保障協議委員会の共同発表で確認された嘉手納基地における負担軽減に基づき、町民が実感できる有効な対策を早急に講じることを改めて強く求めるものである。

よって、嘉手納町議会は町民の生命、安全及び健康で平穏な生活を守る立場から、相次ぐ外来機の飛来及び即応訓練に抗議するとともに、下記事項の速やかな実現を図るよう強く要望する。

記

- 1 嘉手納基地への外来機の飛来を禁止すること。
- 2 「嘉手納飛行場における航空機騒音規制措置」を遵守すること。
- 3 嘉手納基地における負担軽減（嘉手納における更なる騒音軽減）に基づき、町民が実感できる有効な対策を早急に講じること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和4年3月3日
沖縄県嘉手納町議会

(あて先)

内閣総理大臣 外務大臣 防衛大臣 内閣官房長官（沖縄基地負担軽減担当）
沖縄及び北方対策担当大臣 外務省特命全権大使（沖縄担当） 沖縄防衛局長
沖縄県知事

相次ぐ外来機の飛来及び即応訓練に抗議する決議

令和4年2月19日午後にはアラスカ州イールソン空軍基地所属のF-35A戦闘機2機が、同月21日午前には10機が嘉手納基地に飛来し、岩国基地所属F-35B戦闘機1機と合わせ計13機が駐機し訓練を実施している。25日午前中の滑走路を低空で通過するローアプローチ訓練の際には町内すべての騒音測定局で90デシベル以上を記録し、ロータリープラザ測定局では100.4デシベルもの激しい騒音が確認されている。

嘉手納基地では今年1月下旬から、横田基地所属CV-22オスプレイや岩国基地所属F-35戦闘機など外来機の飛来が相次ぎ騒音が増加したことを踏まえ、2月9日の臨時会において騒音激化に抗議する意見書・決議を全会一致で可決し、日米両政府及び関係機関に抗議したばかりである。

このような状況下さらに米軍は、2月28日から3月12日にかけて嘉手納基地内においてサイレン音、拡声器放送、模擬爆発装置（GBS）及び発煙筒等を使用する即応訓練を実施している。空が白む早朝から夜遅くまでエンジン調整音を鳴り響かせ、町中に排気ガスの悪臭を漂わせるとともに、轟音を立てて戦闘機が離発着及び飛行訓練を繰り返している。当該期間内には県立高校入試及び町立中学校卒業式が執り行われる予定があり、平穏な日常生活に大きな悪影響を与えている。

騒音等の基地被害は我慢に我慢を重ねてきた町民の受忍限度をはるかに超えており、米軍の傍若無人な基地運用に激しい憤りを禁じ得ず、いかなる理由があれ容認することはできない。

日米両政府においては、平成22年に日米安全保障協議委員会の共同発表で確認された嘉手納基地における負担軽減に基づき、町民が実感できる有効な対策を早急に講じることを改めて強く求めるものである。

よって、嘉手納町議会は町民の生命、安全及び健康で平穏な生活を守る立場から、相次ぐ外来機の飛来及び即応訓練に抗議するとともに、下記事項の速やかな実現を図るよう強く要望する。

記

- 1 嘉手納基地への外来機の飛来を禁止すること。
- 2 「嘉手納飛行場における航空機騒音規制措置」を遵守すること。
- 3 嘉手納基地における負担軽減（嘉手納における更なる騒音軽減）に基づき、町民が実感できる有効な対策を早急に講じること。

以上、決議する。

令和4年3月3日
沖縄県嘉手納町議会

(あて先)

駐日米国大使 在日米軍司令官 在沖米四軍沖縄地域調整官 在沖米国総領事
嘉手納基地第18航空団司令官 沖縄県議会議長